

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 福井県立藤島高等学校 門前秀洋
2. 講師氏名: Andreas DECHANT (Mr.)
3. 同行者氏名: \_\_\_\_\_
4. 実施日時: 平成29年 6月 8日 (木) 16:40 ~ 17:50
5. 参加生徒: 1年生 6人、 2年生 4人、 3年生 2人 (合計 12人)  
備考: (例:理数科の生徒) 普通科の生徒
6. 講演題目: 理論物理学の概要とドイツの紹介
7. 講演概要:  
理論物理学において講師が研究している分野について、また、出身国のドイツについて、  
国民性や日本との相違点をパワーポイントを使いながら説明を受けた。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 45 分 質疑応答時間 25 分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講演
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
\_\_\_\_\_
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
\_\_\_\_\_
10. その他特筆すべき事項:  
\_\_\_\_\_

様式 A-4

サイエンス・ダイアログ アンケート(参加校の先生)

この度は、本事業にご参加くださりありがとうございました。今後の本事業の運営方法等の参考とするため、下記の内容にご回答くださいますようお願いいたします。

1. 本事業に参加した理由を教えてください。  
(外国人研究者から研究分野について英語で話を聞くことで、研究や英語に関心を持たせるため)

2. 事前打ち合わせについて

コミュニケーション方法を教えてください。(複数回答可)

- 1)  2回以上面談       1回面談       メール       電話  
 その他( )
- 2)  直接講師と       講師の同僚を介して       高校の英語教諭の協力  
 その他( )

打ち合わせた内容を教えてください。

( 講義内容、準備物、交通手段など )

3. 生徒は、講演における英語をどの程度理解できたと思いますか？

- 理解できた。       ある程度理解できた。  
 あまり理解できなかった。       全く理解できなかった。

4. 講演における研究関連についての説明の難易度はいかがでしたか？

- 専門性が高く、難解だった。       ちょうど良かった。  
 より専門的な内容を講演してほしかった。

5. 事前学習は行いましたか？

- 行った(具体的な内容: )  
 行わなかった

6. 今回の講演によって、生徒にどのような効果があったと思いますか？

[ 理系の生徒には研究の醍醐味を感じる機会となった。 ]

7. 全体として、今回の講演はいかがでしたか？

- 良かった       普通       良くなかった

良かった点、良くなかった点を具体的に教えてください。

[ 積極的に研究分野について質問が出ており、良い会となった。 ]

8. 本事業について、お気づきの点や感想などがありましたら、お書きください。

[ ]

9. 再度、本事業を活用したいと思いますか？

- 是非活用したい       機会があれば活用したい       活用したくない

\* ご協力ありがとうございました。